

©Masaki Tomitori

2025年
2月3日(月)

19:00開演 (18:30開場)
Monday, February 3, 2025 at 7 p.m.

サントリーホール
Suntory Hall, Tokyo

指揮
広上 淳一 (札幌友情指揮者)
Junichi HIROKAMI, conductor

ピアノ
外山 啓介
Keisuke TOYAMA, piano

札幌交響楽団 東京公演 2025

SAPPORO SYMPHONY ORCHESTRA

武満 徹
「乱」組曲
TAKEMITSU: Ran Suite

伊福部 昭
リトミカ・オスティナータ
～ピアノとオーケストラのための
IFUKUBE: Ritmica Ostinata

シベリウス
交響曲第2番
SIBELIUS: Symphony No. 2



©Yuji Hori



©Y. Fujii

チケット料金 全席指定・消費税込

S 7,500円 A 6,000円 B 5,000円 C 3,500円 U25割(c) 1,500円

※シルバー券 (65歳以上) S席・A席から1,000円引 (シルバー券、U25割の取り扱いはカジモト・イープラスのみ) ※未就学児入場不可

主催・お問い合わせ/公益財団法人 札幌交響楽団



☎ 011-520-1771 (平日9:30-18:00)
www.sso.or.jp

マネジメント/ KAJIMOTOPLUS

[チケット取り扱い]

カジモト・イープラス www.kajimotoeplus.com **カジモト・イープラス** 検索

☎ 050-3185-6728 (オペレーター対応 10:00-18:00)

チケット発売日 11月6日(水) 10:00～

e+ (イープラス) <https://eplus.jp>
チケットぴあ <https://t.pia.jp> (Pコード 282-950)
ローソンチケット <https://l-tike.com> (Lコード 18220)
サントリーホールチケットセンター ☎ 0570-55-0017 (オペレーター対応 10:00-18:00 ※休館日は休業)
都営ガイド <https://www.tmsa.or.jp/> ☎ 0570-056-057 (オペレーター対応 月-金 10:00-18:00)

助成/ 文化庁文化芸術振興費補助金(舞台芸術等総合支援事業(公演創造活動))
 独立行政法人日本芸術文化振興会

協賛/ 協力/ JAPAN AIRLINES 公益財団法人 東京都交響楽団

SAPPORO SYMPHONY ORCHESTRA

1961年創立の札幌交響楽団(通称「札幌^{さっぽろ}」)。この60年余りの歴史の中には様々な出会いがありました。中でも、「世界のタケミツ」と称された武満徹、映画『ゴジラ』で知られる伊福部昭、そして、シベリウスとの出会いは、札幌にとって特筆すべきものでしょう。60年以上脈々と受け継がれる北海道に根ざした札幌の音色を、この冬、札幌友情指揮者 広上淳一の指揮で存分にお楽しみください。

“世界のタケミツ”に愛されたオーケストラとして

武満 徹 「乱」組曲

札幌は1968年の公演で初めて「弦楽のためのレクイエム」を演奏して以来、オール武満プログラムの演奏会や世界初演曲コンサートをはじめ、創立50周年記念の欧州公演で演奏するなど、今も武満作品を大切なレパートリーとして演奏し続けています。1985年に公開された黒澤明監督による映画『乱』もそのひとつ。武満本人が「自分の音色を一番理解してくれるのは札幌だ」と強く推薦し、岩城宏之の指揮で録音されました。40年の時を経て奏でる札幌の“乱”を、どうぞお聴き逃しなく。

北海道が生んだオーケストラとして

伊福部 昭 リトミカ・オスティナータ 〜ピアノとオーケストラのための

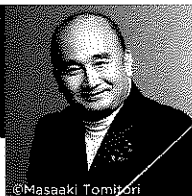
北海道・釧路に生まれ、学生時代を札幌で過ごした伊福部昭もまた、札幌にとって大切な作曲家です。アイヌ民族の音楽に影響を受けたと言われる伊福部の作品は、人の心を揺さぶるようなリズムとサウンドに溢れています。今回は『リトミカ・オスティナータ』＝“執拗に反復される律動”が生み出すエネルギーを、札幌生まれのピアニスト・外山啓介とともに。

日本最北のオーケストラとして

シベリウス 交響曲第2番

北の大地特有の空気をまとう札幌が得意とする作曲家のひとりが、フィンランド出身のシベリウスです。7つあるシベリウスの交響曲の中でも、この第2番は1966年に初演した創立指揮者の荒谷正雄をはじめ数々の指揮者とともに最も多く演奏し、東京公演が60回目となります。札幌の名刺代わりともいえるシベリウス作品。日本最北のオーケストラだからこそ出せるその音色を、東京の皆さまにお届けします。

指揮 広上 淳一 (札幌友情指揮者) Junichi HIROKAMI, conductor



尾高惇忠にピアノと作曲を師事し、音楽、音楽をすることを学ぶ。東京音楽大学指揮科卒業。26歳でキリル・コンドラシン国際指揮者コンクールに優勝。ノールショピング響、コロバス響、京都市響などのオーケストラで数々のポストを歴任。コンサートヘボウ管、イスラエル・フィル、ロンドン響、サンクトペテルブルク・フィルなどへも客演を重ねる。現在、オーケストラ・アンサンブル金沢アーティスティック・リーダー、日本フィル フレンド・オブ・JPO(芸術顧問)、札幌友情指揮者、京都市響広上淳一。東京音大指揮科教授として教育活動にも情熱を注いでいる。

ピアノ 外山 啓介 Keisuke TOYAMA, piano



第73回日本音楽コンクール第1位。東京藝術大学卒業後ハノーファー音楽演劇大学留学を経て、東京藝術大学大学院を修了。2007年CDデビュー。これまでに9枚のCDをリリースし、09年『ラフマニノフ』、13年『展覧会の絵』、21年『ベートーヴェン：ピアノ・ソナタ集』は「レコード芸術」誌特選盤に選出。18年、第44回「日本シヨパン協会賞」受賞。札幌大谷大学音楽学科特任准教授。洗足学園音楽大学非常勤講師。桐朋学園大学非常勤講師。外山啓介オフィシャルサイト <https://www.keisuke-toyama.com>

札幌交響楽団 Sapporo Symphony Orchestra

1961年に発足し60年以上の歴史を誇る北海道唯一のプロ・オーケストラ。透明感のあるサウンドとパワフルな表現は、雄大な北海道に相応しいオーケストラとして知られる。年間約120回のオーケストラ



公演のほか、少人数で学校や福祉施設に音楽を届ける活動にも取り組む。現在、名誉音楽監督 尾高忠明、友情指揮者 広上淳一、首席客演指揮者 下野竜也、正指揮者 川瀬賢太郎を擁し、2025年4月には、首席指揮者に札幌とも縁の深いエリマス・グランディが就任する。この11月、グランディ&札幌の最初のシーズンとなる2025-2026シーズンプログラムを発表した。

2025-2026 シーズンプログラム発表

オーケストラの歴史に新しい光・グランディ&札幌 1stシーズンは「光へー『復活』」から

札幌の姉妹都市ミュンヘンに生まれ、札幌の国際教育音楽祭PMFで学んだエリマス・グランディ。エリシュカ、ボンマー、バーメルトら巨匠たちと醸成してきた札幌の音楽に、新しいエネルギーが注ぎ込まれます。グランディが取り組むのはマーラー(「復活」「さすらう若人の歌」)、リヒャルト・シュトラウス(「ドン・キホーテ」「英雄の生涯」)、ラヴェル(「ダフニスとクロエ」)など、札幌コンサートホールKitaraを存分に響かせるプログラムです。このほか、ホルガーのオーボエやダウスゴーとの初共演、尾高忠明のエルガー2番、下野竜也の「ホルモニーレーレ」、川瀬賢太郎の「春の祭典」、広上淳一による師匠・尾高惇忠の作品など、注目いただきたいプログラムばかりです。詳しくはホームページをご覧ください。



●やむを得ない事情により内容に変更が生じる場合がございますが、公演中止の場合を除き、チケットの払い戻しはいたしかねます。●未就学児の入場はご遠慮いただいております。

つくる人を幸せに、食べる人を笑顔に

ホクレンは、つくる人と食べる人をつなぐ協同組合組織です。



<https://www.hokuren.or.jp/>